

高校生が学びを発表

丹波の森塾 大学や地域と連携
丹若 森若

丹波地域の高校生が、同地域で活動を行う協力大学などと連携しながら、地域の課題を研究



丹波の森若者塾のフォーラムで発表する高校生。丹波市柏原町

柏原で
展示や募金活動を実施。

テーマとして取り組む「丹波の森若者塾」の成果発表会。フォーラムが1日、丹波の森公苑で行われた。氷上西、氷上

さんらが登壇し、▽ラオスに学校を▽みまもり活動▽0円ショップ▽子ども食堂について

篠山鳳鳴、篠山産業、篠山東雲の5高校の生徒が、1年間の学びの成果を発表した。

篠山産業高校は、総合ビジネス科3年生の課題研究「SDGs」選択者の

「0円ショップ」は、家庭で不要になったものを催されている月1回の活動に実際に1年間参加した内容を伝えた。

さんは「1つの問題を解決するためにはその他の問題も解決する必要がある」と、さんは「1回きりではなく、継続することが大切だと感じた。2年生にも引き継いでいきたい」と締めくくった。

2025年2月9日

丹波新聞